

石岡市八郷総合支所等個別施設計画

平成 3 1 年 3 月

目 次

第1章 八郷総合支所等個別施設計画策定の背景、目的と位置付け

1 石岡市八郷総合支所等個別施設計画の背景と目的-----	2
2 石岡市公共施設等総合管理計画の概要-----	3
3 石岡市八郷総合支所等個別施設計画の位置付け-----	4

第2章 八郷総合支所等個別施設計画の対象施設、計画期間

1 対象施設の類型、一覧表-----	6
2 計画期間-----	6

第3章 八郷総合支所等個別施設計画を取り巻く現状と課題

1 八郷総合支所等の概要-----	8
(1) 配置状況	
(2) 事業内容	
(3) 開庁時間等	
(4) 利用状況等	
(5) 運営状況	
(6) コスト状況	
2 人口の現状と課題-----	15
(1) 人口推移及び将来推計	
(2) 八郷地区の旧中学校区別将来人口	
(3) 八郷地区の人口と公共施設の状況	
3 財政の現状と課題-----	19
(1) 歳入	
(2) 歳出	
(3) 投資的経費の推移	

第4章 対策の優先順位の考え方（優先順位の考え方と施設評価）

1 優先順位の考え方-----	23
2 施設評価-----	24

第5章 個別施設の状態等（基礎調査）

1 劣化度、老朽化度調査-----	27
2 利用状況等の推移-----	27
(1) 証明書等の交付件数の推移	

(2) 窓口における税金等の収納件数の推移	
(3) 窓口における証明書等交付件数と税金等収納件数の推移	
3 これまでの施設整備の概要	30

第6章 対策内容と実施時期

1 再配置に関する基本方針	32
(1) 庁舎等の地区別配置状況	
(2) 八郷総合支所等の広域利用と地域利用のバランスについて	
(3) 再配置に関する基本的な考え方	
2 保全に関する基本方針	34
3 工程表	34
4 対策費用	35

第7章 今後の対応方針と本計画の実現にむけて

1 今後の対応	37
(1) 八郷総合支所	
(2) 恋瀬出張所・園部出張所	
2 フォローアップの方法	38

第 1 章

八郷総合支所等個別施設計画策定の背景，目的と位置付け

第1章 八郷総合支所等個別施設計画策定の背景、目的と位置付け

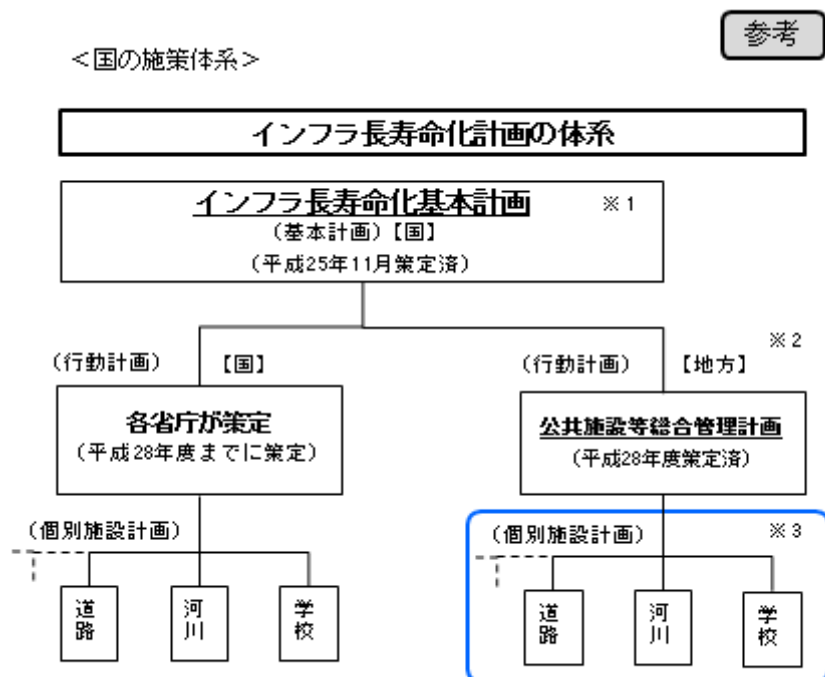
1. 石岡市八郷総合支所等個別施設計画の背景と目的

本市は、平成17年10月の合併後、結果的に用途目的の重複や老朽化が著しい公共施設を多数保有することになりました。また、本市の人口は、平成7年の8.3万人をピークに減少に転じており、少子高齢化も進んでいます。さらに、普通交付税算定の特例(合併算定替)の終了により、交付税が平成28年度から段階的に減額される中、公共施設に対して、維持管理や改修・改築等を計画的に続けていかないと、厳しい財政状況をますます圧迫することになり、他の行政サービスに重大な影響を及ぼすことが懸念されます。

そのため、全体的・中長期的な視点による計画的かつ戦略的な公共施設のマネジメントに取り組むべく、本市が保有する施設の基礎的情報の収集と分析を行い、さまざまな観点から実態や課題を可視化し、課題解決に向けた公共施設のあり方を検討する基礎資料として「石岡市公共施設白書」を平成27年度に作成しました。

一方、国においては、平成25年11月に「インフラ(道路・橋りょう等)長寿命化基本計画」※¹(インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定)を定め、インフラを管理・所管する者に対し、当該施設の維持管理や更新を着実に推進するための行動計画や施設ごとの個別計画の策定を求めています。また、地方公共団体の財政負担の軽減や平準化が図られるように、保有する公共施設等の更新、統合・再編、長寿命化等を計画的に行う「公共施設等総合管理計画」※²の策定要請が、総務大臣から都道府県知事を通して全国の市町村に通知されました。

このような背景もあり、本市においても、公共施設等の総合的な管理は、効率性を追求しながら中長期にわたり計画的に取り組むべき全庁的な重要課題と考え、平成29年3月に「石岡市公共施設等総合管理計画」を策定しており、その目標達成のため「石岡市八郷総合支所等個別施設計画」※³を策定いたします。



出典:「公共施設マネジメントの最近の動向」(平成28年5月13日 総務省自治財政局財務調査課)より

2. 石岡市公共施設等総合管理計画の概要

本市の公共施設等を取り巻く課題として、老朽化した公共施設等の維持管理や更新に今後さらに多くの経費を要することが見込まれていますが、これまでの現状分析により、必要な財源を確保することは非常に困難な状況です。しかし、単に財政状況だけを捉え公共施設総量の縮減を行った場合、公共サービス水準の低下や市民生活へ与える影響が懸念されます。さらに、今後のまちづくりには、防災対応やバリアフリー化の推進、環境に配慮した取組など新たな市民ニーズへの対応や広域的な連携が重要であるため、それらを踏まえた5つの基本方針を定め、施設総量（延床面積）では、今後40年間で20%の削減を目指します。

5つの基本方針

①計画的保全による長寿命化の推進

今後も継続して使用する施設については、これまでの「事後保全」の維持管理だけでなく、長期的な視点で計画的な修繕を行う「予防保全」の考えを取り入れ、定期的な点検や診断結果に基づく計画的な保全を実施し、公共施設等の長寿命化を推進します。

②施設保有量の最適化

今後の財政状況や人口特性などに見合った適切な施設保有量の検討を行います。これまでの一施設一機能を前提とした「施設重視」の発想から、施設の多機能化や集約化等を検討する「機能重視」の発想へと転換し、施設保有量の最適化を図ります。

③地区ごとの特性とニーズに応じた施設再編

各施設の利用状況や石岡地区・八郷地区の特性を踏まえながら配置の見直しを行うとともに、将来のまちづくりの視点に立った施設や機能の最適配置を進めます。

④まちづくりと連動したマネジメントの推進

石岡市かがやきビジョンの将来目指すまちづくりを見据え、国・県・近隣市町と相互に施設の広域連携を進め、地区ごとの施設の配置状況を考慮したマネジメントを行います。

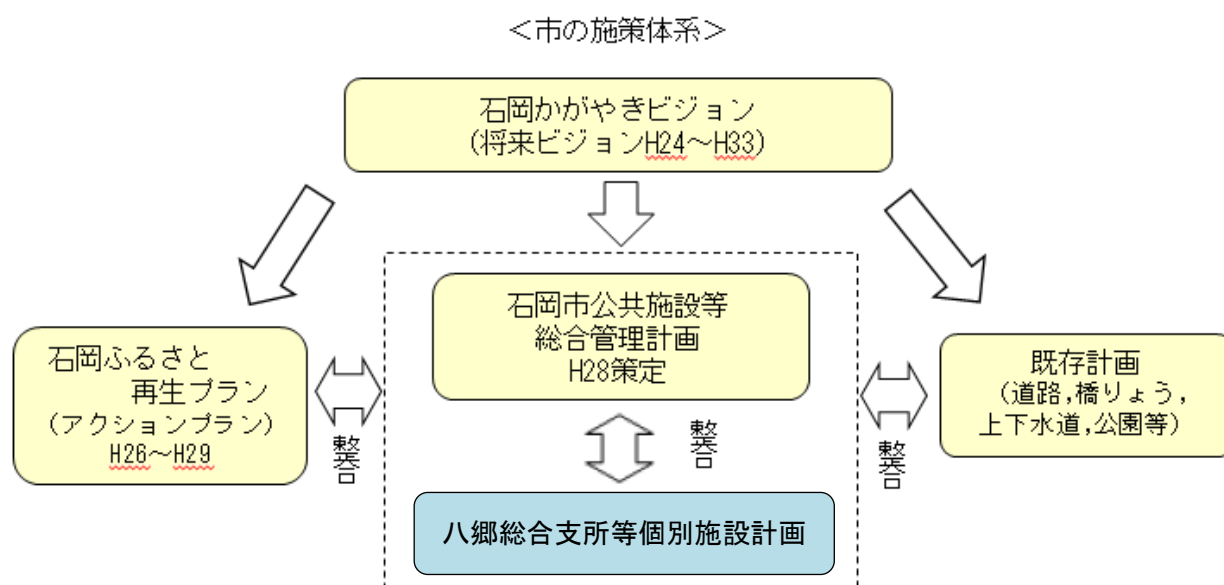
⑤資産の有効活用

遊休資産や公共施設は市民共有の資産であり、維持管理や運営にかかる経費を市民全員が負担していることから、市民のための資産であることを再認識するとともに、「行政経営」の視点を取り入れ、資産の運用を行います。

3. 石岡市八郷総合支所等個別施設計画の位置付け

「石岡市公共施設等総合管理計画」は、本市の将来ビジョンである「石岡かがやきビジョン」を下支えする計画のひとつであり、また「石岡ふるさと再生プラン」と連動した各施策分野の中の施設等に関する取組の横断的な指針とし、公共施設と主要なインフラ施設に係る各個別計画が体系化された包括的なものとして位置付けています。

「石岡市八郷総合支所等個別施設計画」は「石岡市公共施設等総合管理計画」と整合性を持つ下位計画であり、「石岡市公共施設等総合管理計画」に基づき、八郷総合支所等について具体的な施設計画を定めます。



第2章

八郷総合支所等個別施設計画の対象施設，計画期間

第2章 八郷総合支所等個別施設計画の対象施設、計画期間

1. 対象施設の類型、一覧表

「石岡市八郷総合支所等個別施設計画」では公共施設の用途別類型のうち、八郷総合支所、恋瀬出張所及び園部出張所（石岡市公共施設白書：P. 250～260，石岡市公共施設等総合管理計画：P. 79～81）を対象とします。

八郷総合支所、恋瀬出張所及び園部出張所は、「石岡市公共施設総合管理計画」の施設類型において、市役所と共に「庁舎等」に位置づけられています。

■ 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	複合・ 併設施設	備考
					公民館	
1 市役所（平成31年1月供用開始予定）	石岡一丁目1番地1					
2 八郷総合支所	柿岡5680番地1	8,100.63	平成6	SRC造		
3 恋瀬出張所	小見827番地1	23.41	昭和57	S造	●	
4 園部出張所	真家1921番地	21.00	昭和57	S造	●	
合計		8,145.04				

2. 計画期間

本市が保有する公共施設は昭和40年代以降集中して整備してきた結果、これらが今後、築後30～50年といった改修・建替えが必要な時期を迎えることになります。また、公共施設の質と量の最適化を図る上で、中長期的な計画のもと、人口面、財政面とも連動したマネジメントが不可欠であるため、「石岡市公共施設等総合管理計画」は平成29年度から平成68年度までの40年間を計画期間とし、10年ごとに計画内容の見直しを行うとしています。

このことから、「石岡市八郷総合支所等個別施設計画」は平成32年度から平成41年度までの10年間を計画期間とし、平成38年度に行われる「石岡市公共施設等総合管理計画」の見直し後、整合性を取り更新を行います。

第3章

八郷総合支所等個別施設計画を取り巻く現状と課題

1. 八郷総合支所等の概要

本市では、市役所のほか、八郷総合支所、恋瀬及び園部の2箇所の出張所の計4箇所に行政窓口を設置しています。

(1) 配置状況

図 位置図



(2) 事業内容

各種証明書等の交付や異動等の届出受付業務を行っています。

市役所及び八郷総合支所では、住民票や戸籍謄・抄本等の発行、各種申請の受付等の窓口業務を行っています。出張所では、住民票等や税に関する証明書の交付、市税等の収納業務を行っています。

なお、住民票・印鑑証明書・課税(非課税)証明書・所得証明書・納税証明書については、平成28年7月から、マイナンバーカードによるコンビニでの交付が可能となっています。

表 コンビニ交付利用者数

	住民票全部の写	印鑑証明	所得証明書	合計
29年	881人	1,431人	205人	2,517人

*数値は、「事務に関する説明書」より

(3) 開庁時間等

庁舎等の開庁時間は、平日で午前8時30分から午後5時15分までで、市役所と八郷総合支所では、毎週水曜日に窓口時間の延長を行い、市民課や保険年金課等市民の利用が多い窓口について、午後7時まで開庁しています。

名称	開庁時間	閉庁日	開庁日数
市役所 八郷総合支所	午前8時30分から午後5時15分まで (水曜午後7時まで)	土曜日、日曜日・祝日、 年末年始	244日 (平成29年度)
恋瀬出張所 園部出張所	午前8時30分から午後5時15分まで		

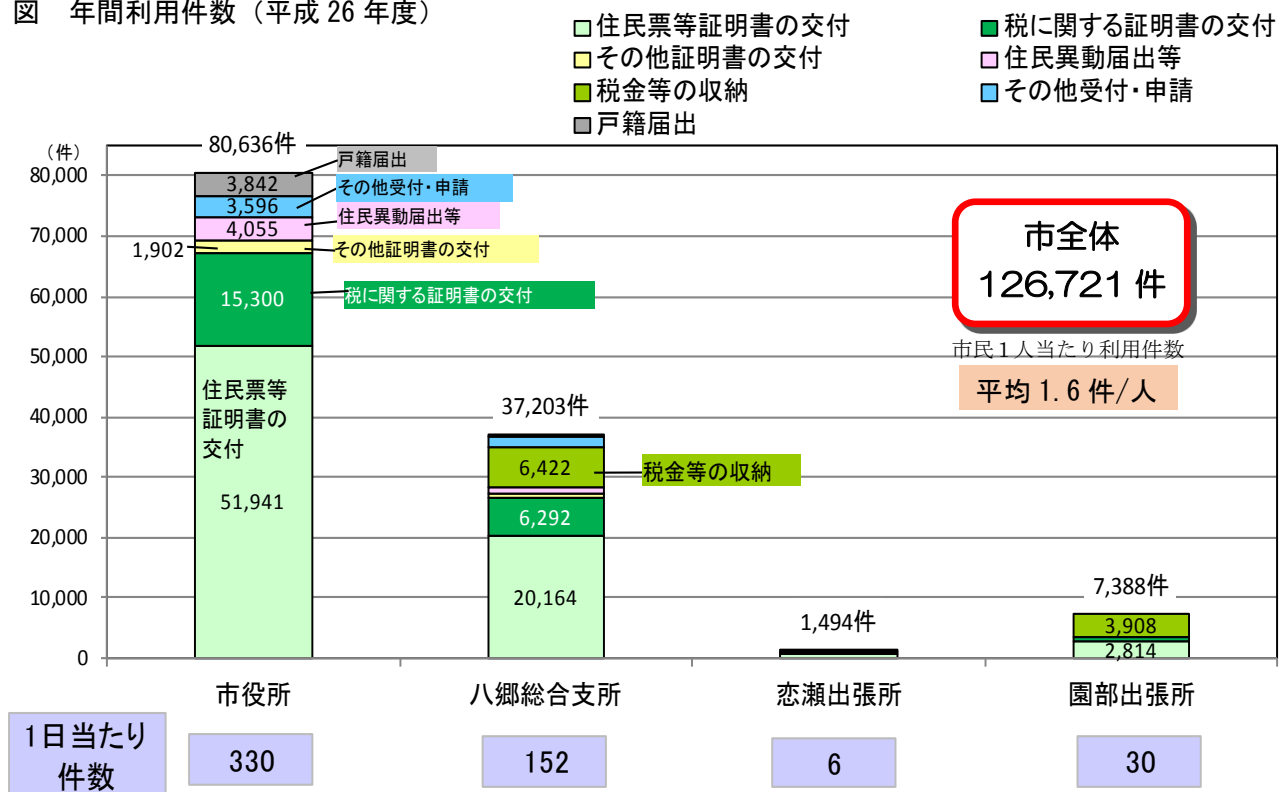
（４）利用状況等

平成 26 年度の全体の窓口利用件数は、126,721 件です。市民 1 人当たり年間約 1.6 件の利用となっています。取扱業務ごとの内訳をみると、住民票等証明書などの交付が 75,720 件と全体の 59.75%，税に関する証明書の交付が 17.63%，その他証明書の交付が 2.25%であり，証明書の交付で全体の 79.63%となっています。

施設別の利用件数では、市役所（市民課）が 80,636 件と全体利用の約 64%を占めています。次いで八郷総合支所が 37,203 件で、市役所と合せて全体の約 93%を占めています。出張所は恋瀬出張所が 1,494 件、園部出張所が約 7,388 件となっています。

1 日当たりの利用件数は、市役所（市民課）が 330 件/日、八郷総合支所が 152 件/日、出張所は 30 件/日から 6 件/日となっています。

図 年間利用件数（平成 26 年度）



	市役所	八郷総合支所	恋瀬出張所	園部出張所	合計	(件)
住民票等証明書の交付	51,941	20,164	801	2,814	75,720	(59.75%)
税に関する証明書の交付	15,300	6,292	88	666	22,346	(17.63%)
その他証明書の交付	1,902	953			2,855	(2.25%)
住民異動届出等	4,055	984			5,039	(3.98%)
税金等の収納		6,422	605	3,908	10,935	(8.63%)
その他受付・申請	3,596	1,826			5,422	(4.28%)
戸籍届出	3,842	562			4,404	(3.48%)
合計	80,636	37,203	1,494	7,388	126,721	(100.00%)

※市民一人当たりの件数の算定人口は、平成 26 年 4 月 1 日時点の住民基本台帳人口による

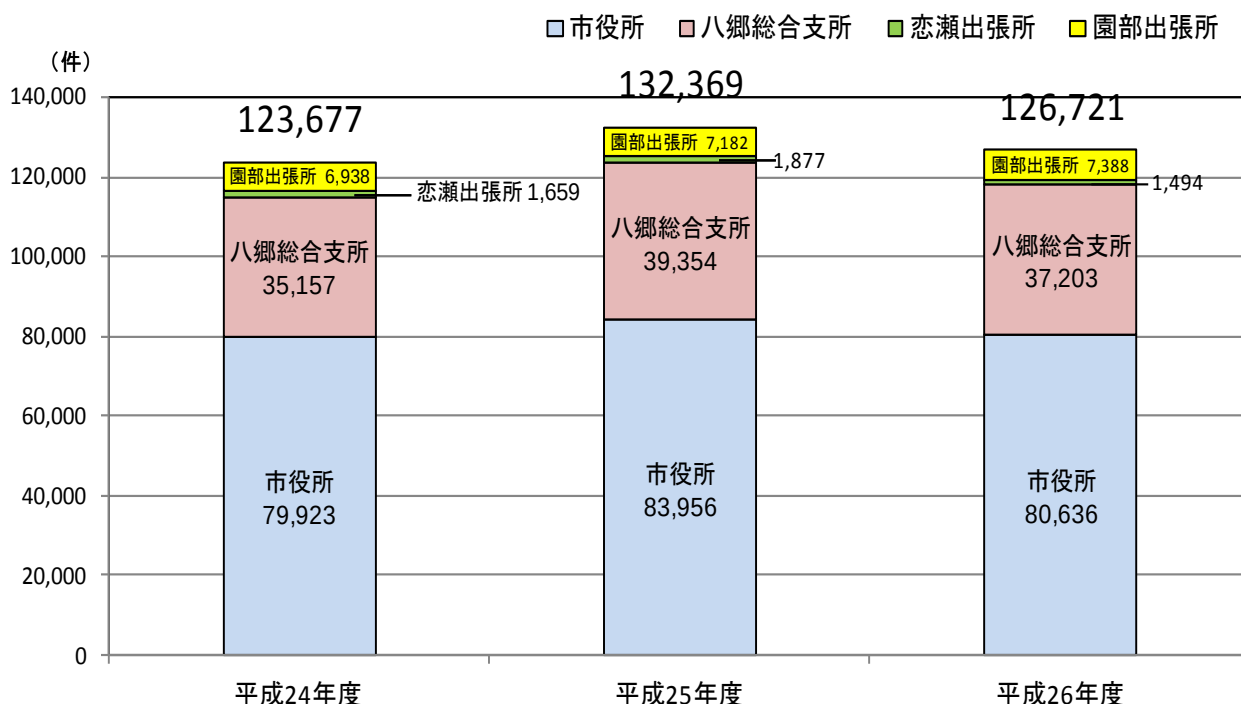
- ・その他証明書の交付：埋火葬，改葬許可証，母子手帳，誕生証書，自動車臨時運行許可
- ・その他受付・申請：印鑑登録，県民交通災害共済，税務申告書等

平成 24 年度から平成 26 年度まで 3 年間の利用推移をみると、平成 24 年度が全体で約 123,677 件であり、平成 25 年度はやや増加しましたが、平成 26 年度は平成 25 年度よりもやや減少した状況となっています。

八郷総合支所については、平成 24 年度が約 35,157 件で平成 25 年度はやや増加し、平成 26 年度は平成 25 年度よりやや減少した状況となり、全体の傾向と一致しています。

一方、出張所は、園部出張所が、平成 24 年度から平成 25 年度、平成 26 年度と徐々に増加しているのに対し、恋瀬出張所は、平成 25 年度が前年比でやや増加したものの平成 26 年度には平成 24 年度の件数より低い件数となっています。

図 利用件数年度推移



(5) 運営状況

①運営人員

行政窓口業務の運営人員は、市役所（市民課）が16 人、八郷総合支所が7 人、恋瀬出張所は3人、園部出張所は2 人となっています。

なお、市役所には窓口業務以外も含め、全体で一般職員215 人、嘱託員33 人、臨時職員11 人が従事しています。また、八郷総合支所には、全体で一般職員153 人、嘱託員8 人、臨時職員13人が従事しています。

表 運営人員（平成 26 年度）

(人)

		市役所	八郷総合支所	恋瀬出張所	園部出張所	合計
管理運営形態		直営	直営	直営	直営	
窓口・受付	一般職員	10.0	4.0	1.0	2.0	17.0
	再任用職員			2.0		2.0
	嘱託員	6.0	3.0			9.0
	合計	16.0	7.0	3.0	2.0	28.0

②運営体制

市役所（市民課）の運営体制は、一般職員10人、嘱託員6人の16人体制となっています。一般職員10人のうち、窓口延長のある水曜日のみ時差出勤を含め19時までの勤務が4人います。嘱託員6人のうち、8時30分～15時30分が2人、9時～16時が2人、9時30分～16時30分が1人、10時～17時が1人となっています。

八郷総合支所は一般職員4人、嘱託員3人の7人体制となっています。一般職員4人のうち、水曜日のみ時差出勤で17時15分～19時までの勤務が2人います。嘱託員3人のうち、8時30分～15時30分が1人、9時～16時が1人、10時15分～17時15分が1人となっています。

恋瀬出張所は一般職員1人、再任用職員2人の2～3人体制となっています。一般職員1人は8時30分～17時15分までの勤務で、再任用職員1人は交代制で8時30分～17時15分までの勤務となっています。

園部出張所は一般職員2人体制となっています。一般職員2人は8時30分～17時15分までの勤務となっています。

		8:30	10:15	15:30	17:00	17:15	19:00
市役所 (市民課)	平日(月～金) 運営体制 16人 水曜 17:15～19:00 4人						
		一般職員 10人 10:15 (時差出勤2人:水曜のみ) 一般職員 4人 (水曜のみ) 8:30 嘱託員 2人 15:30 9:00 嘱託員 2人 16:00 9:30 嘱託員 1人 16:30 10:00 嘱託員 1人 17:00					
八郷 総合支所	平日(月～金) 運営体制 7人 水曜 17:15～19:00 2人						
		一般職員 4人 (時差出勤2人:水曜のみ) 嘱託員 3人(ローテーション下記) 9:00 嘱託員 1人 16:00 嘱託員 1人 嘱託員 1人					
恋瀬 出張所	平日(月～金) 運営体制 2～3人						
		一般職員 1人 再任用職員 1人(交代制)					
園部 出張所	平日(月～金) 運営体制 2人						
		一般職員 2人					

（６）コスト状況

①行政窓口の運営にかかるコスト状況

行政窓口の年間トータルコストは、１億８,８８４万円です。

施設別トータルコストでは、市役所は１億１,１３４万円です。支所及び出張所では、恋瀬出張所の１,３８８万円から八郷総合支所の４６１９万円となっています。

表 施設別 行政コスト計算書（平成 26 年度）

Ⅰ.現金収支を伴うもの【コストの部】		市役所	八郷総合支所	恋瀬出張所	園部出張所	(千円) 合計
事業運営にかかるコスト	修繕費	13	6		1	20
	委託費	10,005	4,356	629	852	15,842
	使用料及び賃借料	17,456	7,553	1,084	1,478	27,571
	車両・備品購入費	285				285
	負担金補助及び交付金	4	2			6
	その他物件費	2,782	1,414	47	233	4,476
	事業運営	30,545	13,331	1,760	2,564	48,200
	一般職員人件費	74,340	29,736	7,434	14,868	126,378
	嘱託員人件費	6,459	3,121			9,580
	再任用職員人件費			4,686		4,686
	窓口・受付	80,799	32,857	12,120	14,868	140,644
	事業運営にかかるコスト	111,344	46,188	13,880	17,432	188,844
現金収支を伴うコスト 計		111,344	46,188	13,880	17,432	188,844
Ⅲ.総括						
コストの部合計(トータルコスト)		111,344	46,188	13,880	17,432	188,844

図 全施設トータルコスト（平成 26 年度）

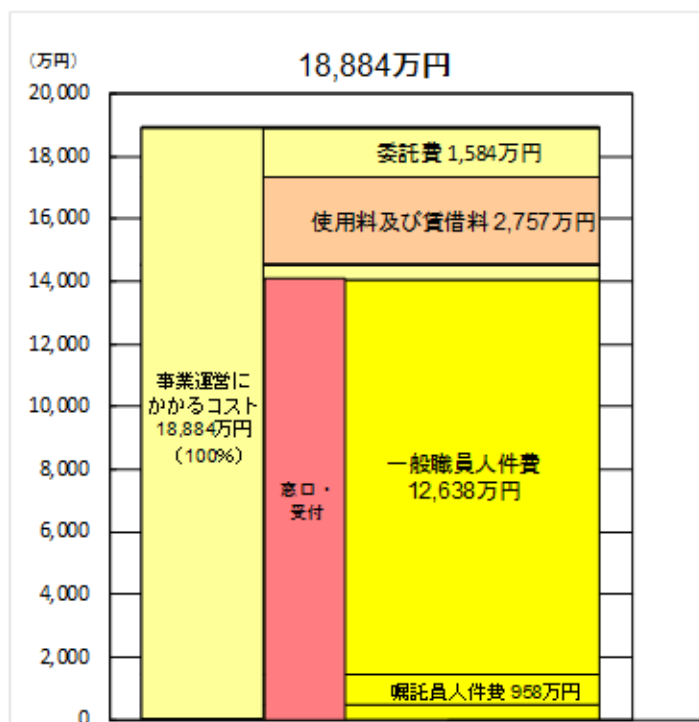
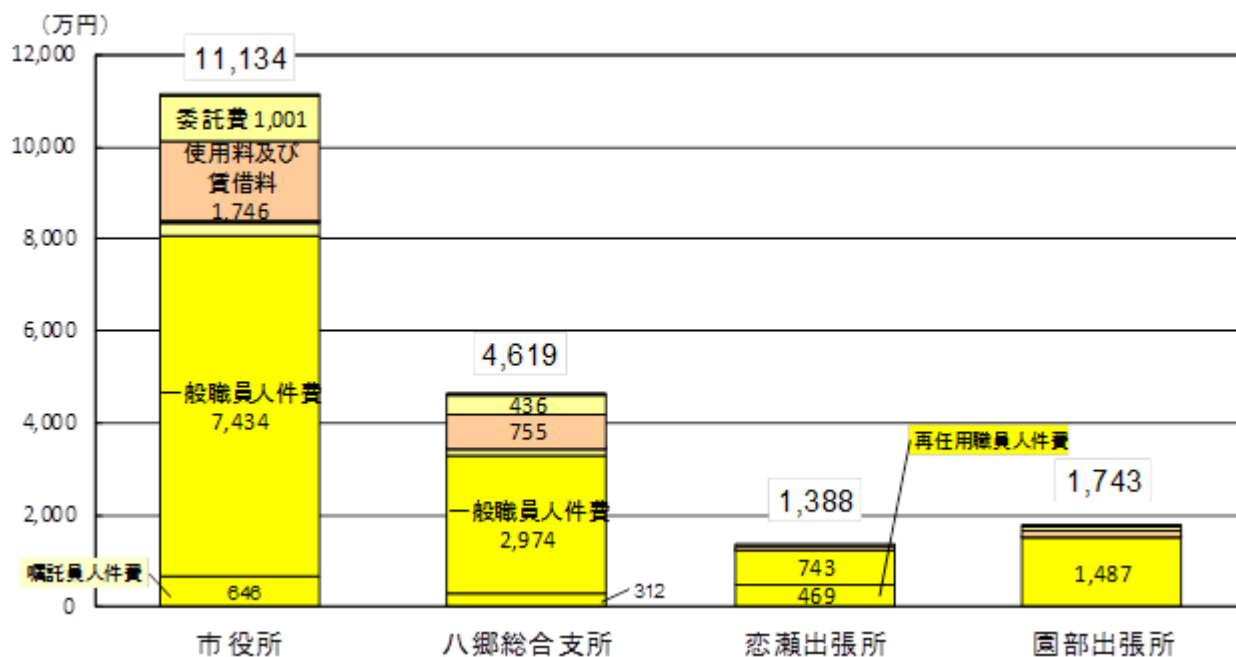


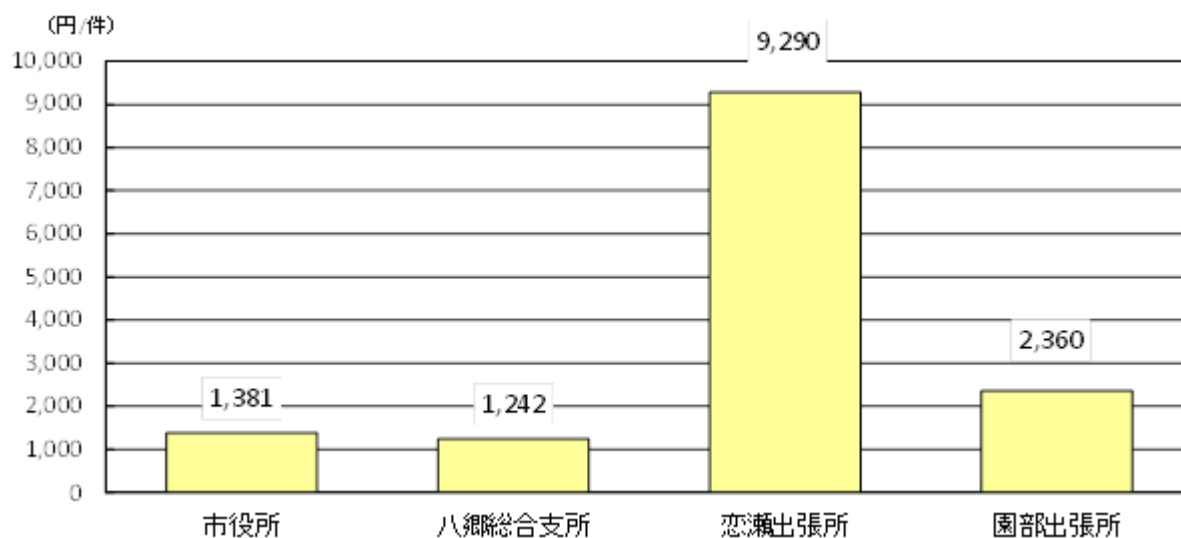
図 施設別トータルコスト（平成 26 年度）



②利用件数 1 件당たりにかかるコスト

年間利用件数とトータルコストから利用 1 件당たりにかかるコストを算出すると、市役所が 1,381 円/件、支所及び出張所は 1,242 円/件から 9,290 円/件となっています。

図 施設別 利用 1 件당たりにかかるコスト（平成 26 年度）



③維持管理にかかるコスト状況

庁舎等の年間トータルコストは、2 億 4,234 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 1 億 5,319 万円 (63%)、減価償却相当額が 8,915 万円 (37%) となっています。

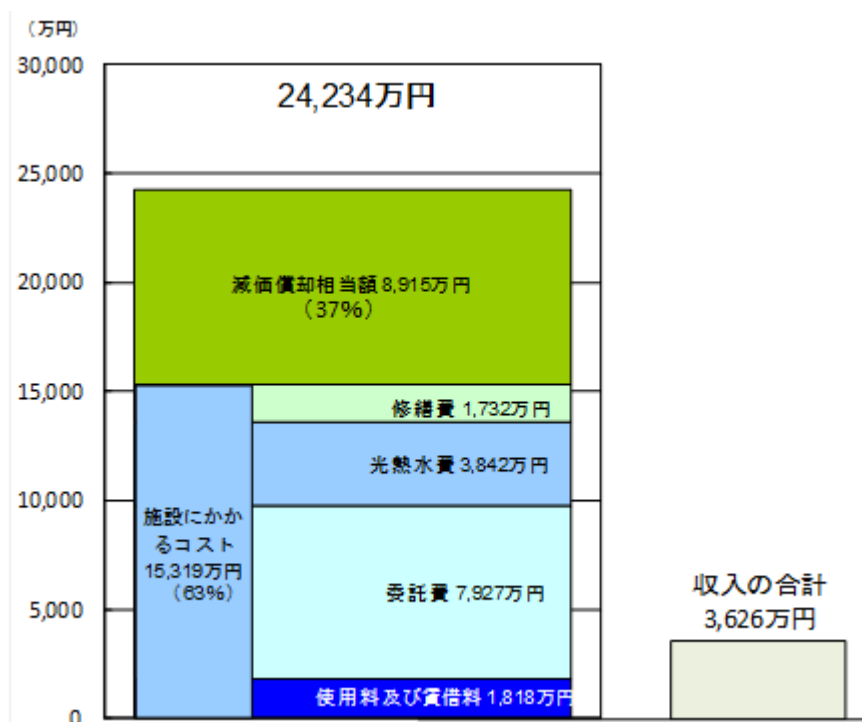
表 施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）

Ⅰ. 現金収支を伴うもの【コストの部】		市役所	八郷総合支所	恋瀬出張所	園部出張所	合計
施設にかかるコスト	修繕費	924	16,399			17,323
	光熱水費	21,127	17,208	43	39	38,417
	委託費	44,282	34,774	107	107	79,270
	使用料及び賃借料	15,202	2,980			18,182
	施設にかかるコスト	81,535	71,361	150	146	153,192
現金収支を伴うコスト 計		81,535	71,361	150	146	153,192
【収入の部】						
収入	手数料収入	25,028	9,829	304	1,101	36,262
収入の合計		25,028	9,829	304	1,101	36,262
Ⅱ. 現金収支を伴わないもの						
コスト	減価償却相当額	37,407	51,471	141	127	89,146
Ⅲ. 総括						
コストの部合計(トータルコスト)		118,942	122,832	291	273	242,338
収支差額(ネットコスト)		93,914	113,003	-13	-828	206,076

※市役所の施設にかかるコストは、本庁舎全体のコストを含みます。

※出張所は公民館との複合施設のため、光熱水費・委託費以外の施設にかかるコストは公民館で計上しています。

図 施設別トータルコスト（平成 26 年度）



2. 人口の現状と課題

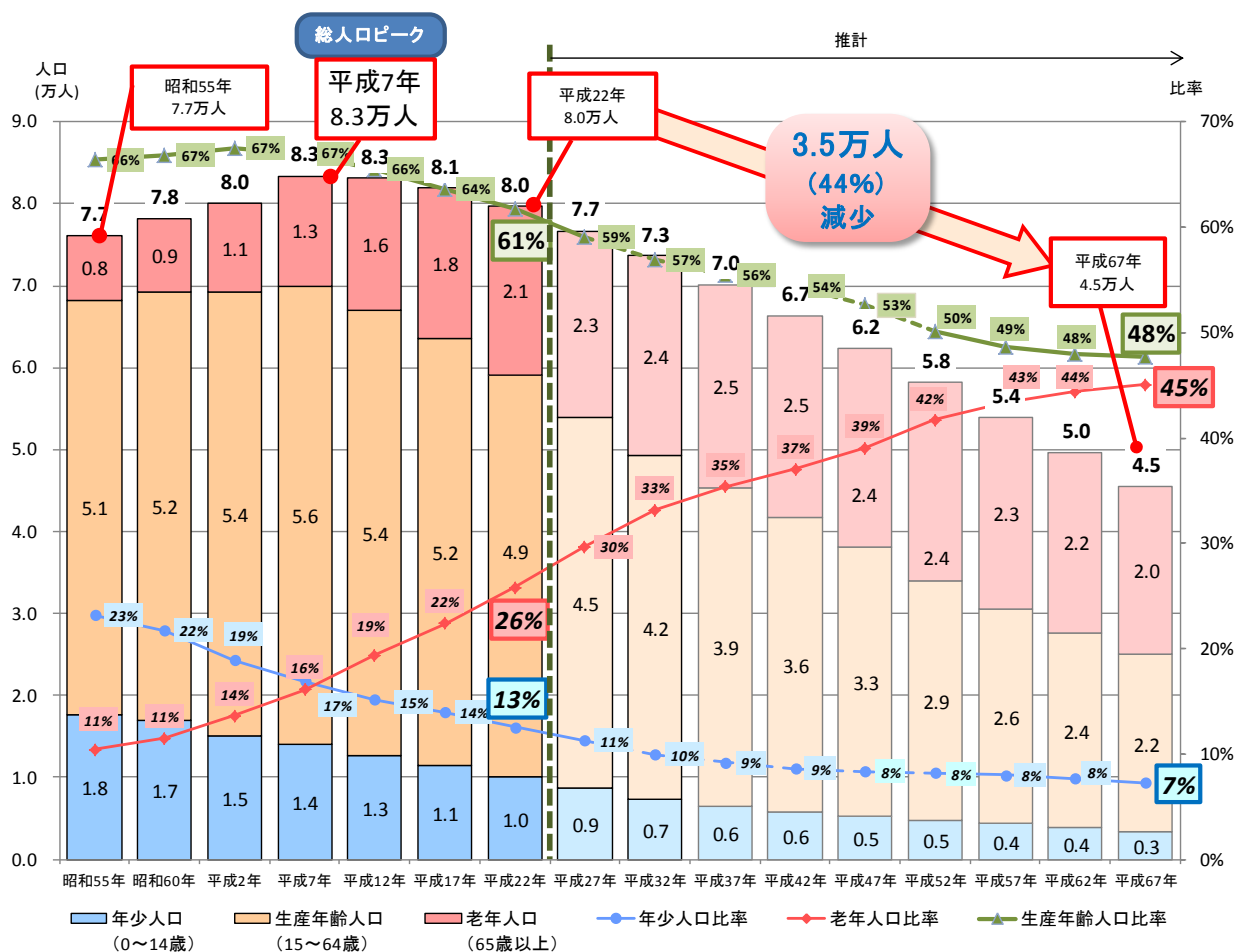
本市の人口は、平成7年の8.3万人をピークに、その後、減少に転じます。平成67年には4.5万人と、平成22年時点の8.0万人から3.5万人（約44%）減少する見込みです。

平成28年10月現在、7万5,156人（常住人口）となっています。

（1）人口推移及び将来推計

平成22年と平成67年の比較で市全体の人口は8.0万人から4.5万人へと約44%減少すると推計されます。年齢構成別にみると、生産年齢人口が4.9万人から2.2万人へ約55%減少、年少人口は1.0万人から0.3万人へ約70%と大幅に減少する一方、老年人口は2.1万人から2.0万人へと約5%の微減となることが推計されています。ただし、老年人口は平成42年までは約20%増加し、その後、同じ割合で減少に転じると推計されます。その中でも、75歳以上の後期高齢者人口が平成22年の1.0万人から平成42年の1.6万人へ約60%大幅に増加します。その後は、平成42年をピークに、微減傾向へと転じます。今後40年間で人口構成が大きく変化し、求められる行政サービスの変化に対応する必要があると考えられます。

図 年齢階層別人口推移・将来推計



※ 推計は、国立社会保障・人口問題研究所の推計手法に準拠（平成22年10月1日を基準年として推計）。
（施策の展開による人口増は含まず）

(2) 八郷地区の旧中学校区別将来人口

市全体としては、旧中学校区別（8 地区）の人口推計の比較では、最大で旧有明中学校区 49.2% の減少、最小で石岡中学校区 33.3% の減少と地区によって大きな開きがあります。

旧中学校区（8 地区）別人口推計を八郷地区の 4 地区で比較すると、人口増減率は、市全体が 40.7% 減少のところ、園部中学校区は 37.7% の減少にとどまりますが、旧有明中学校区が 49.2%、旧八郷南中学校区が 46.7%、旧柿岡中学校区が 44.5% と大きく減少します。

また、次頁の表「旧中学校区（8 地区）ごとの 40 年後の人口変化詳細（平成 27 年度→平成 67 年度）」で八郷地区の 4 地区を比較すると 15 歳から 64 歳人口の構成比の割合が大きく減少し、75 歳以上の高齢人口が大きく増える傾向にあります。

図 旧中学校区（8 地区）人口（平成 27 年→平成 67 年）

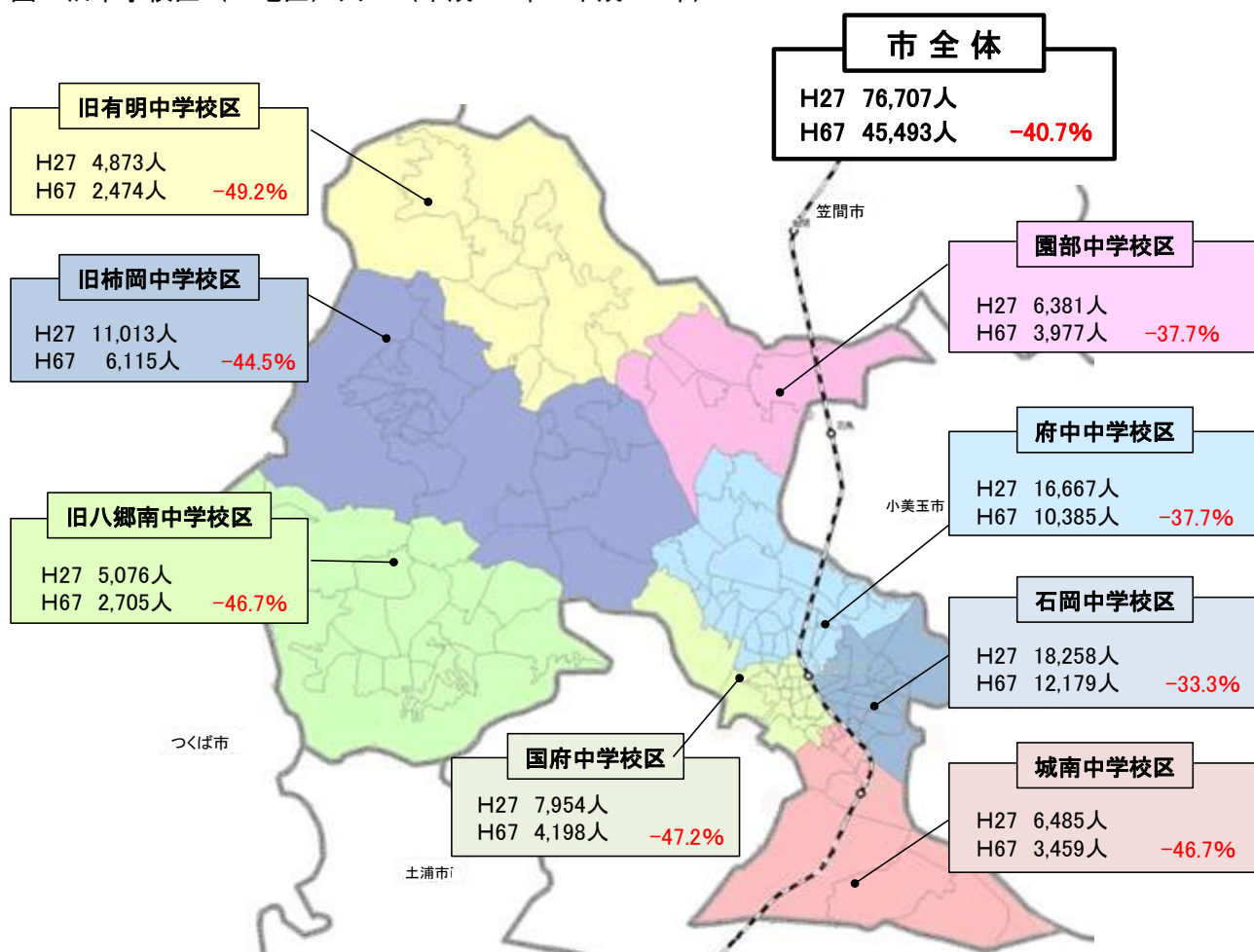


表 旧中学校区（8地区）ごとの40年後の人口変化詳細（平成27年→平成67年）

旧有明		平成27年 4,873人		平成67年 2,474人		人口増減率 -49.2%
		人口	構成比	人口	構成比	増減率
	老年人口(75歳～)	1,013人	20.8%	768人	31.0%	-24.2%
	老年人口(65歳～74歳)	683人	14.0%	354人	14.3%	-48.2%
	生産年齢人口(15～64歳)	2,744人	56.3%	1,190人	48.1%	-56.6%
	年少人口(0～14歳)	433人	8.9%	162人	6.6%	-62.6%
旧柿岡		平成27年 11,013人		平成67年 6,115人		人口増減率 -44.5%
		人口	構成比	人口	構成比	増減率
	老年人口(75歳～)	1,880人	17.1%	1,866人	30.5%	-0.7%
	老年人口(65歳～74歳)	1,603人	14.5%	949人	15.5%	-40.8%
	生産年齢人口(15～64歳)	6,428人	58.4%	2,869人	46.9%	-55.4%
	年少人口(0～14歳)	1,102人	10.0%	431人	7.1%	-60.9%
旧八郷南		平成27年 5,076人		平成67年 2,705人		人口増減率 -46.7%
		人口	構成比	人口	構成比	増減率
	老年人口(75歳～)	878人	17.3%	828人	30.6%	-5.7%
	老年人口(65歳～74歳)	785人	15.5%	430人	15.9%	-45.2%
	生産年齢人口(15～64歳)	2,915人	57.4%	1,254人	46.4%	-57.0%
	年少人口(0～14歳)	498人	9.8%	193人	7.1%	-61.2%
園部		平成27年 6,381人		平成67年 3,977人		人口増減率 -37.7%
		人口	構成比	人口	構成比	増減率
	老年人口(75歳～)	801人	12.6%	1,188人	29.9%	48.3%
	老年人口(65歳～74歳)	859人	13.4%	574人	14.4%	-33.2%
	生産年齢人口(15～64歳)	3,961人	62.1%	1,923人	48.4%	-51.5%
	年少人口(0～14歳)	760人	11.9%	292人	7.3%	-61.6%
府中		平成27年 16,667人		平成67年 10,385人		人口増減率 -37.7%
		人口	構成比	人口	構成比	増減率
	老年人口(75歳～)	2,349人	14.1%	3,151人	30.3%	34.1%
	老年人口(65歳～74歳)	2,434人	14.6%	1,451人	14.0%	-40.4%
	生産年齢人口(15～64歳)	9,845人	59.1%	5,005人	48.2%	-49.2%
	年少人口(0～14歳)	2,039人	12.2%	778人	7.5%	-61.8%
国府		平成27年 7,954人		平成67年 4,198人		人口増減率 -47.2%
		人口	構成比	人口	構成比	増減率
	老年人口(75歳～)	1,449人	18.2%	1,382人	32.9%	-4.6%
	老年人口(65歳～74歳)	1,388人	17.5%	575人	13.7%	-58.6%
	生産年齢人口(15～64歳)	4,368人	54.9%	1,948人	46.4%	-55.4%
	年少人口(0～14歳)	749人	9.4%	293人	7.0%	-60.9%
石岡		平成27年 18,258人		平成67年 12,179人		人口増減率 -33.3%
		人口	構成比	人口	構成比	増減率
	老年人口(75歳～)	1,937人	10.6%	3,736人	30.7%	92.9%
	老年人口(65歳～74歳)	2,433人	13.3%	1,627人	13.4%	-33.1%
	生産年齢人口(15～64歳)	11,424人	62.6%	5,911人	48.5%	-48.3%
	年少人口(0～14歳)	2,464人	13.5%	905人	7.4%	-63.3%
城南		平成27年 6,485人		平成67年 3,459人		人口増減率 -46.7%
		人口	構成比	人口	構成比	増減率
	老年人口(75歳～)	1,175人	18.1%	1,071人	31.0%	-8.9%
	老年人口(65歳～74歳)	1,104人	17.0%	542人	15.7%	-50.9%
	生産年齢人口(15～64歳)	3,615人	55.8%	1,607人	46.4%	-55.5%
	年少人口(0～14歳)	591人	9.1%	239人	6.9%	-59.6%

（３）八郷地区の人口と公共施設の状況

○旧有明中学校区

本市の総人口に占める割合は6.4%です。平成67年の人口推計は2,474人となり、平成27年の4,873人から49.2%減少します。

中学校は平成25年4月に統合（有明・柿岡・八郷南中学校）され、旧柿岡中学校区に八郷中学校が新設されています。小学校は2校が配置され、いずれも1校当たり6学級の小規模校となっています。学校以外の主な公共施設の配置状況は、庁舎等として恋瀬出張所、スポーツ施設として八郷総合運動公園が設置されており、公民館等集会施設は恋瀬地区（出張所との複合施設）・瓦会地区公民館の2施設が設置されています。いずれの公共施設も築30年以上となっています。

○旧柿岡中学校区

本市の総人口に占める割合は14.4%です。平成67年の人口推計は6,115人となり、平成27年の11,013人から44.5%減少します。

中学校は平成25年4月に統合（有明・柿岡・八郷南中学校）され、この地区に八郷中学校が新設されています。小学校は4校が配置され、いずれも1校当たり6学級を中心とした小規模校となっています。学校以外の主な公共施設の配置状況は、庁舎等として八郷総合支所、保健施設として八郷保健センターが設置されており、公民館等集会施設は中央（柿岡地区）・葦穂地区・林地区公民館の3施設が設置されています。

○旧八郷南中学校区

本市の総人口に占める割合は6.6%です。平成67年の人口推計は2,705人となり、平成27年の5,076人から46.7%減少します。

中学校は平成25年4月に統合（有明・柿岡・八郷南中学校）され、旧柿岡中学校区に八郷中学校が新設されています。小学校は2校が配置され、いずれも1校当たり6学級の小規模校となっています。学校以外の主な公共施設の配置状況は、レクリエーション・観光施設として、つくばねオートキャンプ場ほか3施設、保養施設としてやさ温泉ゆりの郷ほか1施設、産業系施設としてやさ農産物直売所が設置されており、公民館等集会施設は小幡地区・小桜地区公民館の2施設が設置されています。

○園部中学校区

本市の総人口に占める割合は8.3%です。平成67年の人口推計は3,977人となり、平成27年の6,381人から37.7%減少します。一方、75歳以上の老年人口については、それ以外の年齢層と異なり、801人から1,188人と34.1%増加しています。

中学校は園部中学校の1校です。小学校は2校が配置され、いずれも1校当たり6学級を中心とした小規模校となっています。学校以外の主な公共施設の配置状況は、庁舎等として園部出張所が設置されており、公民館集会施設として園部地区公民館（出張所との複合施設）が配置されています。

3. 財政の現状と課題

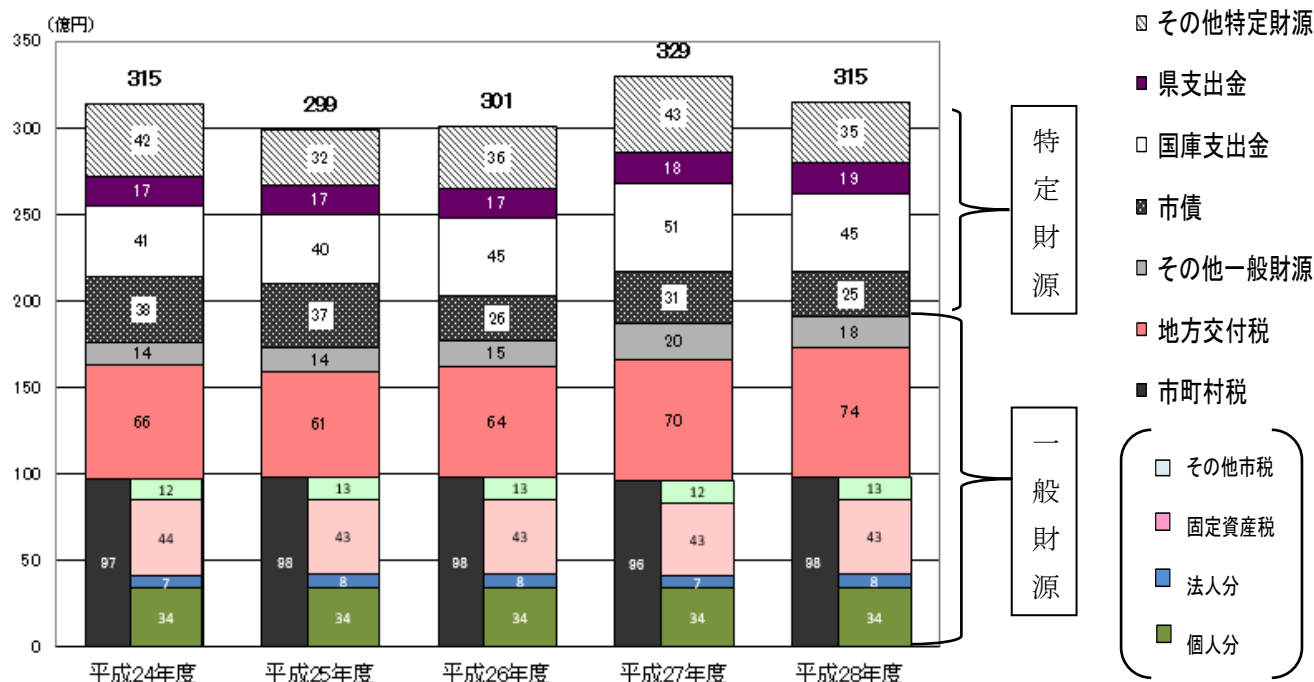
(1) 歳入

歳入の中で地方交付税の割合は約 20%と大きな割合を占めていますが、平成 28 年度以降は、合併特例措置が段階的に解消されることから減少が見込まれます。また、個人市民税については、将来の生産年齢人口の状況によってその増減が大きく左右されることから、これからの人口推移が本市の財政状況に大きく影響してくることが予想されます。

平成 28 年度の普通会計の歳入は、315 億円です。平成 24 年度からの 5 年間の推移を見ると、平成 27 年度には合併後最大となったものの、平成 28 年度は減少しています。

市税についても、平成 28 年度では約 31%の 98 億円と大きなウェイトを占め、市の貴重な財源となっています。内訳を見ると、固定資産税が 43 億円（約 14%）を占めるほか、個人市民税も 34 億円（約 11%）と高い割合を占めています。特に個人市民税については、将来の生産年齢人口の状況によってその増減が大きく左右されることから、これからの人口推移が本市の財政状況に大きく影響してくることが予想されます。

図 歳入の推移



(出典：総務省「地方財政状況調査」)

(2) 歳 出

扶助費は、保育関係経費や障害者福祉費を主要因として増加傾向にあり、平成28年度では平成24年度と比較し、歳出に占める割合が18%から23%に増加しています。財政の経常収支比率も89～90%と高い水準で推移しており、財政の硬直化が進行しています。

平成28年度の普通会計の歳出は、297億円です。歳出の推移をみると、平成24年度の299億円と比較し、2億円が減額となっています。

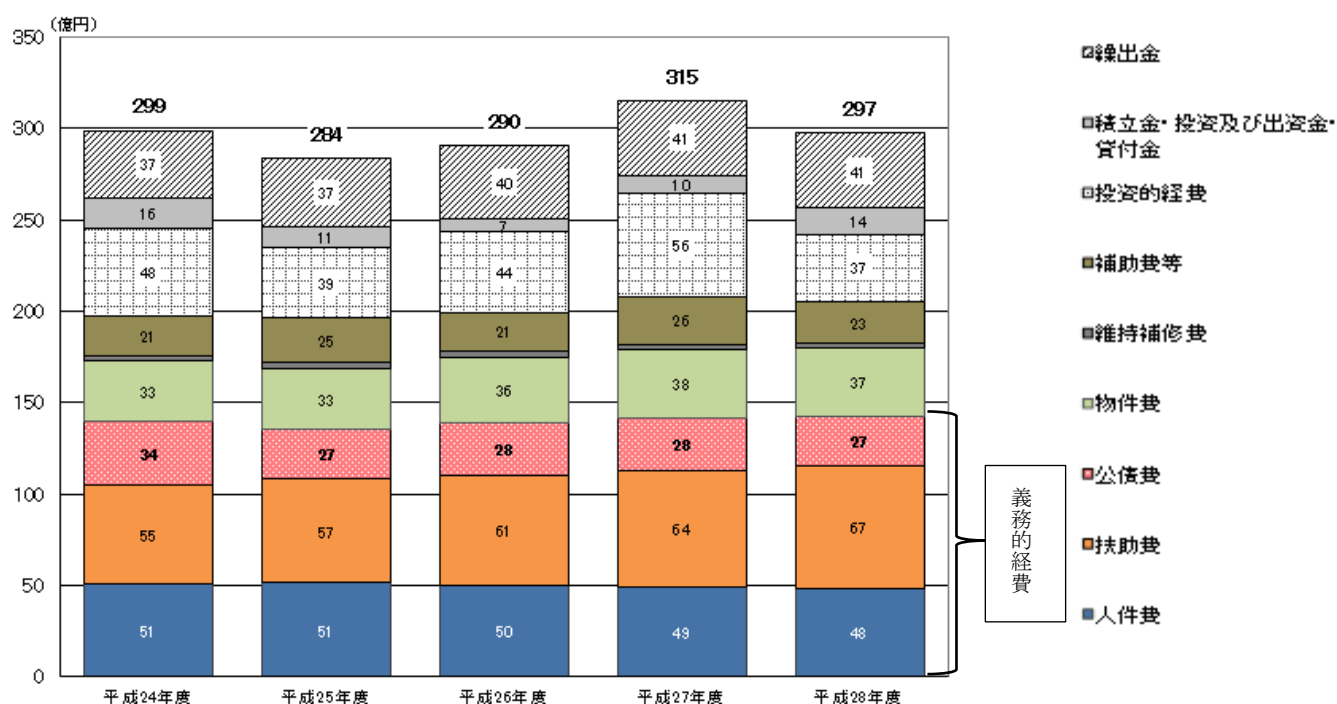
増額が目立つ項目として、「扶助費」があげられます。扶助費は、保育関係経費や障害者福祉費を主要因として増加傾向にあり、平成28年度では平成24年度と比較し約1.2倍に増加し、また、歳出に占める割合も18%から23%に増加しています。

減少がみられる項目としては人件費があげられます。平成24年度の51億円から平成28年度は48億円へと、6%減少しています。

財政の経常収支比率も89～90%と高い水準で推移しており、財政の硬直化が進行しています。

将来の歳入の減少に伴い歳出の抑制・配分の見直しが不可欠です。

図 歳出の推移



総務省「地方財政状況調」

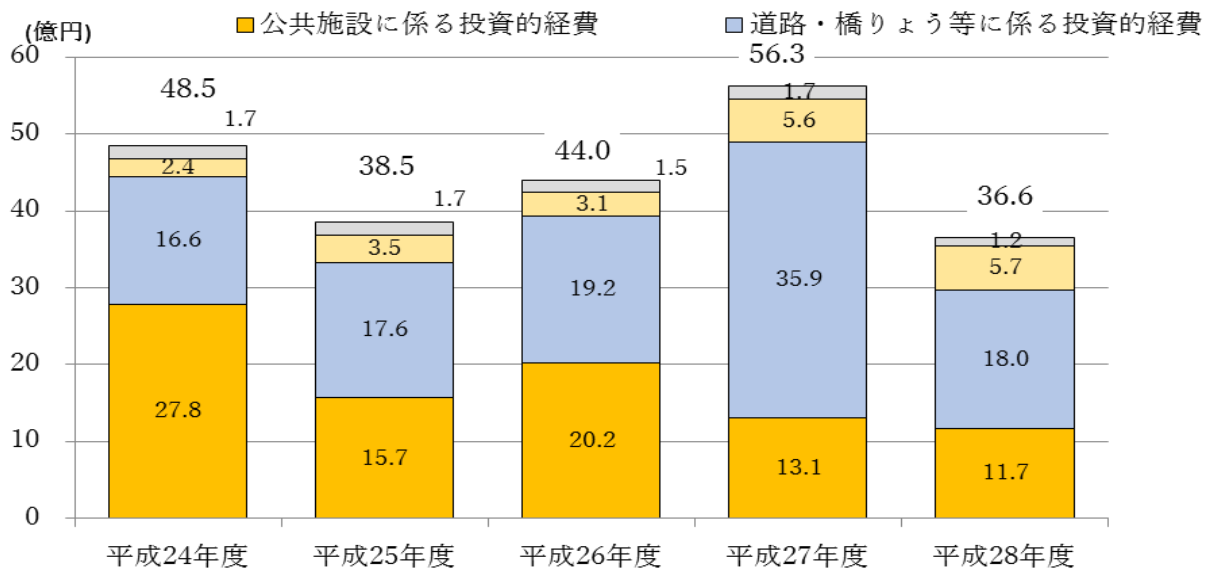
(3) 投資的経費の推移

投資的経費は、直近5年間は37～56億円の水準で推移しています。内訳をみると、道路整備や河川等のインフラ整備に17～36億円程度、公共施設等には12～28億円程度支出しています。

今後の高齢化や経済の成熟化等を踏まえると、財政面での大きな改善が見込めない中、道路整備やインフラ整備を継続する必要があるうえに、学校をはじめとする老朽化した公共施設の改修・建替え等を進めていくことが求められるため、中長期的な財政見通しと連動した計画的な公共施設に関するマネジメントが重要となります。

また、本市の歳出に占める投資的経費の割合は平成28年度では12%となっています。近隣6市の比較では、最も高い小美玉市で21%、最も低い桜川市で11%であり、他市比較からも本市の投資的経費の割合は、あまり高い状況とはいえません。（白書13ページ参照）

図 投資的経費の推移



第4章

対策の優先順位の考え方（優先順位の考え方と施設評価）

1. 優先順位の考え方

対策の優先順位は、利用者の安全安心を確保するため、施設の劣化等に対する施設修繕が第一となります。八郷総合支所、恋瀬出張所及び園部出張所の劣化状況は、前述のとおり耐震性や老朽化の面で緊急な状態にはありません。出張所2施設は公民館との複合施設で、いずれも築30年を超えており、老朽化の進行が懸念されます。八郷総合支所は築20年を超えた施設で、老朽化対策の検討が必要です。

劣化問診票調査では、いずれの施設でも重大な劣化は報告されていませんが、八郷総合支所では、建築(屋上)や建築設備(空調設備)に経年劣化が見られるため、順次更新していく必要があります。



八郷総合支所全景



空調設備の中央監視盤

次に、環境対応やいっそうのバリアフリー化については、「石岡市公共施設等総合管理計画」でも指摘されており、対応が求められています。第4章の表「庁舎等の建物総合評価結果」に見るとおり、八郷総合支所ではある程度対応が進められていますが、出張所2施設は未対応ですので、今後対応の検討が望まれます。八郷総合支所においては、車イス用スロープが一部仮設の状況のため、設置を検討する必要があるとともに、極力バリアフリー化を推進していきます。

ただし、八郷総合支所は、平成46年に建築後40年を迎えるため、基本的には長寿命化改修工事とあわせて実施することとし、急を要する場合は、長寿命化改修工事を考慮して効率的に行うこととします。

2. 施設評価

施設を評価するため、「石岡市公共施設等総合管理計画」では、利用者 1 人当たりのコストと、劣化の状況との 2 つの軸を設定し、施設を評価しています（次頁参照）

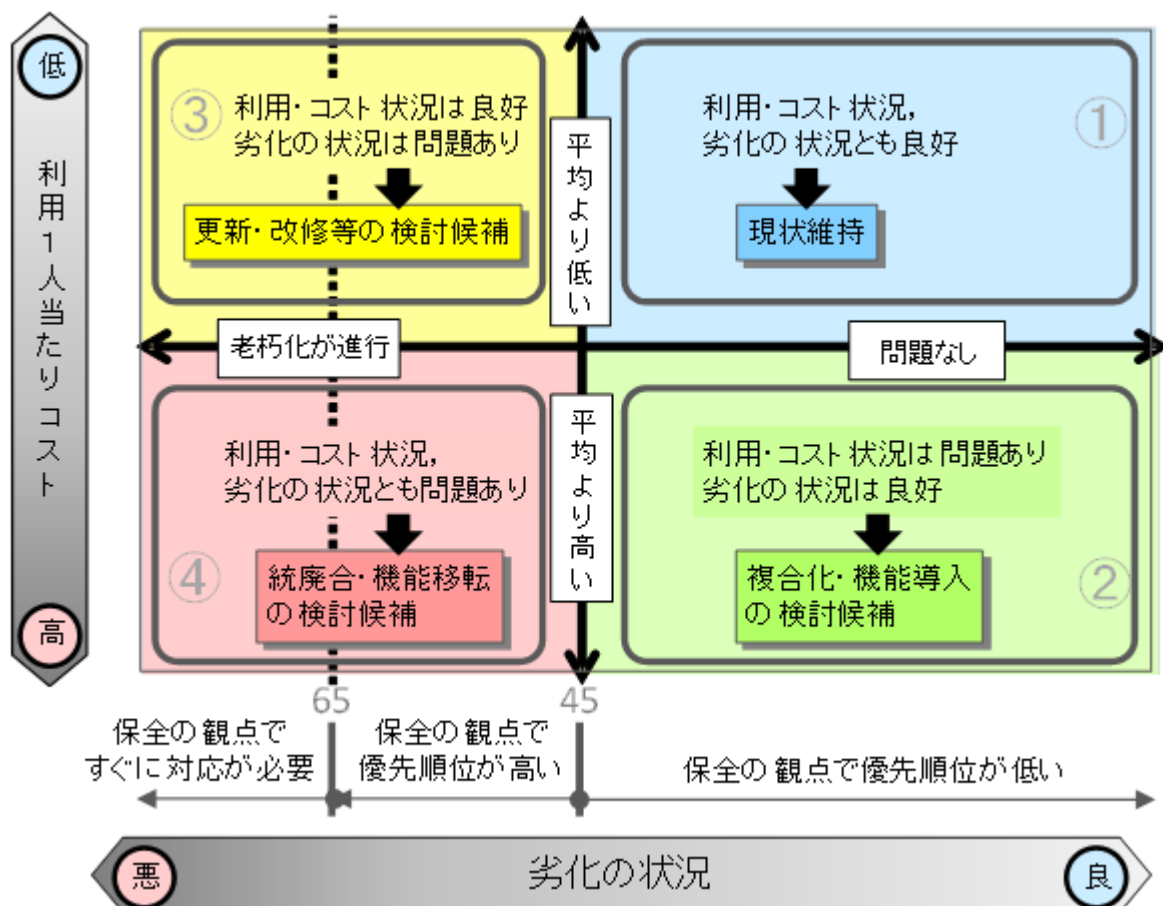
この図に八郷総合支所を当てはめると、利用者 1 人当たりのコストは平均より低く、劣化の状況は問題がないエリアに位置します。

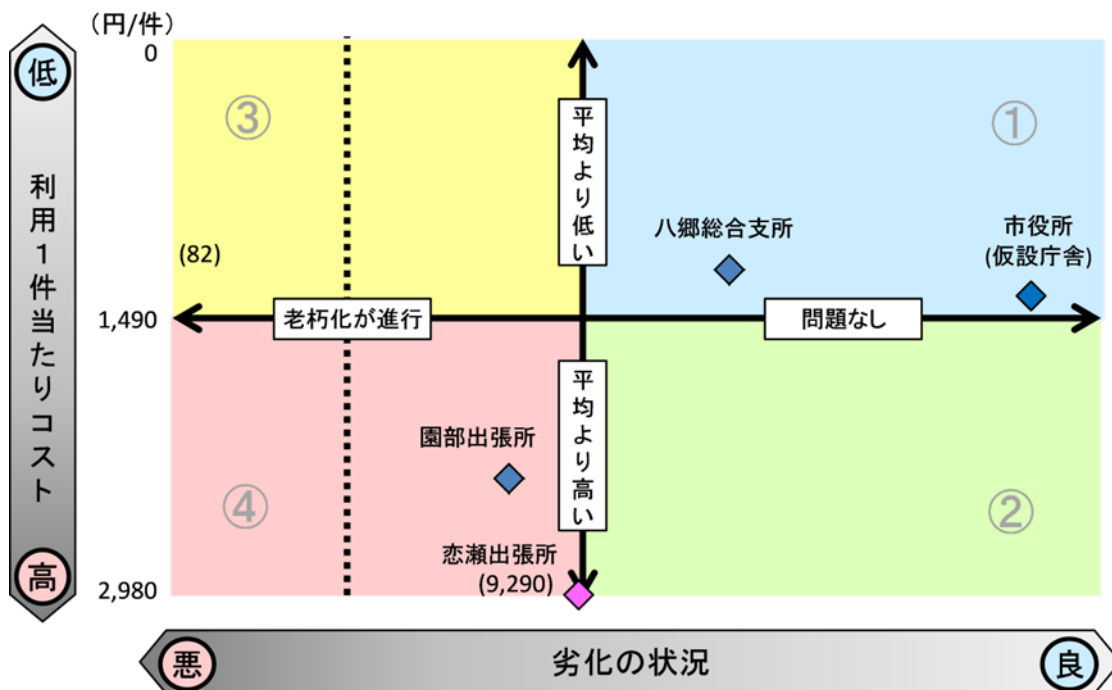
恋瀬出張所は、利用者 1 人当たりのコストは平均より非常に高く、劣化の状況は現状で問題ありと良好のほぼ中間に位置していますが、今後の施設保全の観点で考え、劣化状況も問題ありのエリアに位置するものとして、評価していきます。

また、園部出張所は、利用者 1 人当たりのコストは平均より高く、劣化の状況も問題があるエリアに位置します。

このことから、八郷総合支所の評価は「現状維持」となり、出張所 2 施設の評価は「統配合・機能移転の検討候補」となります。よって、「石岡市公共施設等総合管理計画」には「現行の施設でのサービスの必要性の検証と併せ、より合理的な機能配置と、施設整備の効率化を図ります」という改善の方向性が示されています。

図 2 軸評価（劣化の状況と利用 1 件当たりのコスト）





第5章

個別施設の状態等（基礎調査）

第5章 個別施設の状態等（基礎調査）

1. 劣化度、老朽化度調査

庁舎等の建物総合評価結果では、庁舎等3施設のいずれも耐震安全性は確保されています。

出張所2施設は公民館との複合施設で、いずれも築30年を超えており、老朽化の進行が懸念されます。八郷総合支所は築20年を超えた施設で、老朽化対策の検討が必要です。ただし、劣化問診票調査では、いずれの施設でも重大な劣化は報告されていません。

バリアフリー化については、八郷総合支所ではある程度対応が進められていますが、出張所は未対応ですので、今後の更新等に合わせて、対応の検討が望まれます。

表 庁舎等の建物総合評価結果

平成26年度の本庁舎(平成31年1月供用開始予定)を除く庁舎等3施設の建物状況を評価しました。

		基本情報		① 耐震化	②老朽化			③ 劣化 状況	④バリアフリー対応							⑤ 環境対応	⑥維持管理				
																	床面積当たり (円/㎡)				
No.	施設名	建築 年度	延床 面積 (㎡)	耐震 診断・ 耐震改修	築年 数	直近の 大規模改修	大規模改修 または直近の 年数	劣化問診票 回答評価	エレベーター※1	車いす用 トイレ	障がい者用 トイレ	車いす用 スロープ	自動 ドア	手すり	点字 ブロック	太陽光 発電の 導入	自然エ ネルギー ・	環境対 応設備※2	光熱 水費	建物 管理 委託 費	各所 修繕 費
1	市役所(建替予定)																				
2	八郷総合支所	平成6	8,101	不要	21	-	21	△	○	○	○	○	○	○	○	×	×		2,124	4,293	2,024
3	恋瀬出張所	昭和57	23	不要	33	-	33	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		1,837	4,571	0
4	園部出張所	昭和57	21	不要	33	-	33	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		1,857	5,095	0

記載例	③	○：劣化がみられないもの △：一部に劣化がみられるもの・不明 ×：屋根・外壁等の重要部位に劣化がみられるもの	④⑤	○：実施済 △：一部実施・不明 ×：未実施	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備 ※①の「不要」には、耐震診断の結果耐震補強が不要な施設と、新耐震基準施設のため不要な施設が含まれる。

2. 利用状況等の推移

市役所、八郷総合支所、出張所については、それぞれの庁舎等に配置されている課が異なり、業務内容も大きく異なります。そのため、「石岡市公共施設等総合管理計画」策定の際は、主に市民課、市民窓口課、恋瀬及び園部出張所の窓口業務における利用者数を中心に比較しています。

しかし、マイナンバーカードの交付等の事務が加わったり、証明書のコンビニ交付が開始されるなどここ数年の変化もあることから、窓口業務の件数で8割以上を占め、かつ、八郷総合支所（市民窓口課）と出張所で共通して行っている住民票等・戸籍・印鑑証明・各種税証明（以下「証明書等」という。）の交付件数と税金等の収納件数で、八郷総合支所及び出張所の利用状況等の推移を比較することとします。

（１）証明書等の交付件数の推移

最近５年間における各庁舎等の証明書等合計交付数は、下表のとおりです。平成２６年が前年比で２６,２９４件減少していますが、平成２６年以降は年々増加しています。

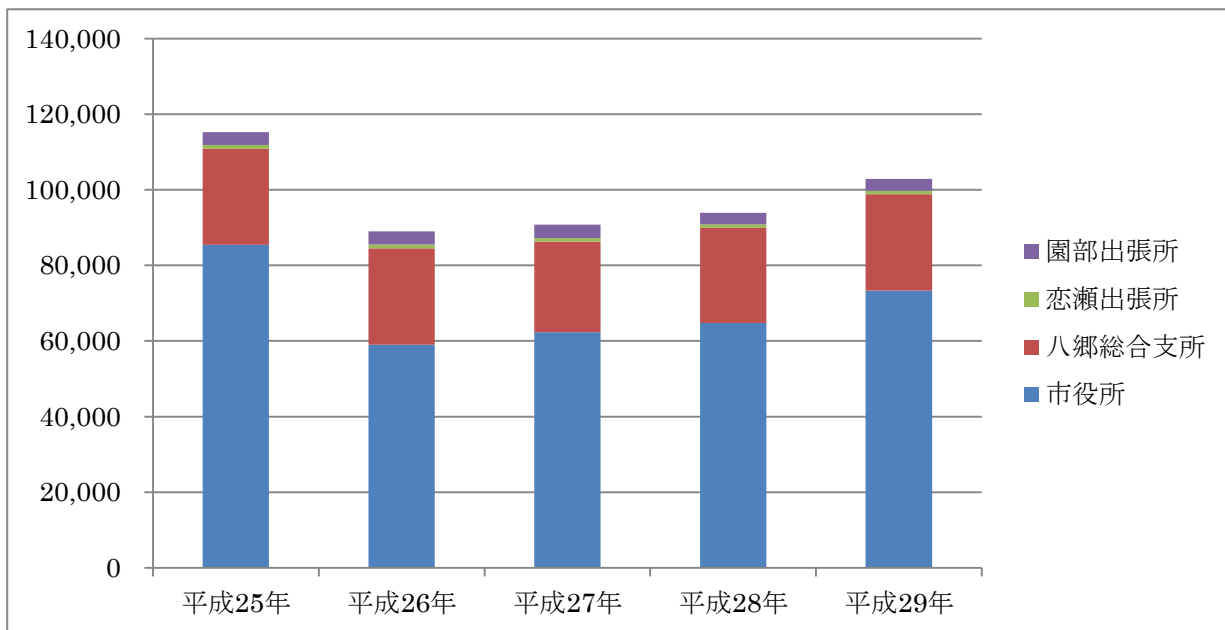
表 窓口における証明書等交付件数の推移

(単位：件)

	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
市役所	85,460	59,017	62,329	64,786	73,362
八郷総合支所	25,377	25,530	23,983	25,118	25,438
恋瀬出張所	1,030	958	919	929	911
園部出張所	3,383	3,451	3,505	3,055	3,187
計	115,250	88,956	90,736	93,888	102,898

※数値は、事務に関する説明書

図 窓口における証明書等交付件数の推移



（２）窓口における税金等の収納件数の推移

最近５年間における八郷総合支所と出張所の税金等の収納件数は、次のとおりです。平成２６年が前年比で１,５４５件増加していますが、平成２６年以降は年々減少しています。

表 窓口における税金等の収納件数の推移

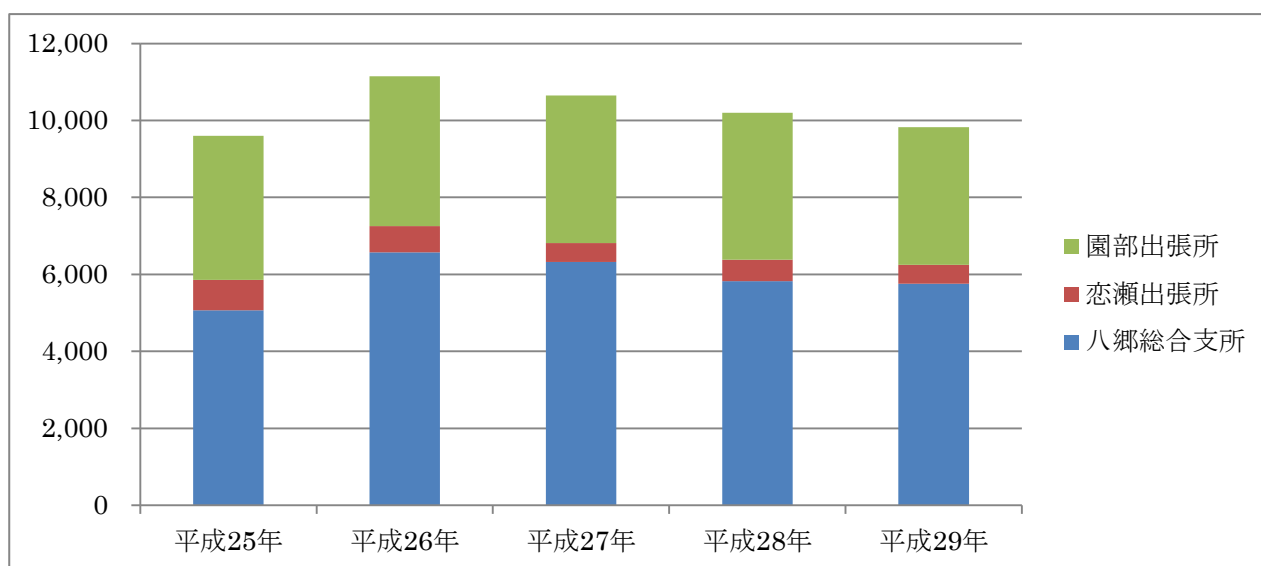
(単位：件)

	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
市役所	—	—	—	—	—
八郷総合支所	5,069	6,575	6,325	5,825	5,758
恋瀬出張所	785	682	493	553	488
園部出張所	3,751	3,893	3,829	3,820	3,583
計	9,605	11,150	10,647	10,198	9,829

※市役所は、市民課の取扱件数で比較しているため実績値なし。

※数値は、事務に関する説明書より

図 窓口における税金等の収納件数の推移



(3) 窓口における証明書等交付件数と税金等収納件数の推移

最近5年間における件数の変化は、次のとおりです。証明書等の交付件数が多いため、証明書等の交付件数の増減傾向と一致しています。

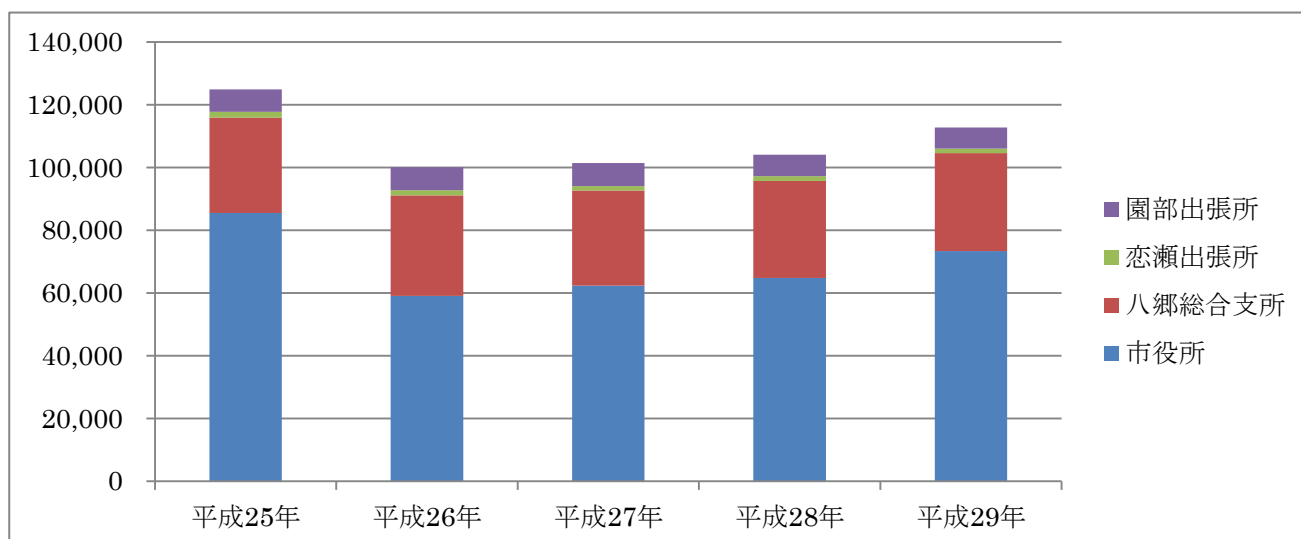
表 窓口における証明書等交付件数の推移

(単位：件)

	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
市役所	85,460	59,017	62,329	64,786	73,362
八郷総合支所	30,446	32,105	30,308	30,943	31,196
恋瀬出張所	1,815	1,640	1,412	1,482	1,399
園部出張所	7,134	7,344	7,334	6,875	6,770
計	124,855	100,106	101,383	104,086	112,727

※数値は、事務に関する説明書

図 窓口における証明書交付件数と税金等収納件数の推移



(4) コンビニ交付

石岡市では、マイナンバーカードを利用したコンビニ交付を平成 28 年 7 月から実施しており、サービスを利用できる箇所と時間が拡大しています。

① 利用できる場所

- ・全国の指定コンビニエンスストア 11 社のコンビニ交付対応端末のある店舗
- ・茨城県守谷市役所、石川県小松市役所、奈良県生駒市役所
- ・石岡市役所 本庁

② 利用できる時間

午前 6 時から午後 1 時 30 分 (土・日・祝日を含む)

※年末年始(12 月 29 日から翌年 1 月 3 日)は利用できません。

※石岡市役所本庁の証明書発行機は、平日の開庁時間のみ。

③ 対象となる証明書

住民票謄(抄)本、印鑑証明書、住民税(非)課税証明書、所得証明書、納税証明書

④ 交付実績

	住民票謄(抄)本	印鑑証明	所得証明書	合計
29 年	881 人	1,431 人	205 人	2,517 人

*数値は、「事務に関する説明書」より

⑤ マイナンバーカード交付数 8, 222 枚(平成 30 年 3 月 31 日現在)

※人口に占める交付割合 10.7%(人口は、平成 29 年 1 月 1 日住民基本台帳人口)

3. これまでの施設整備の概要(過去 5 年間の主な改修状況)

八郷総合支所は、過去に下記の建物及び設備工事を実施しています。

平成 25 年度	吸収式冷温水機改修(3,570,000 円) 4 階空調自動制御装置修繕(14,717,500 円)
平成 26 年度	吸収式冷温水機改修(6,361,200 円) 支所庁舎東側外壁タイル修繕工事(1,792,800 円) 支所庁舎内壁タイル修繕工事(3,240,000 円)
平成 27 年度	吸収式冷温水機改修(5,724,000 円) エントランスカーテン修繕(2,527,200 円) 庁舎 1 階改修(多目的ホール)(9,676,800 円)
平成 28 年度	吸収式冷温水器改修(6,372,000 円) 議場関係雨漏り等修繕(773,669 円) 2 階ブラウジングルーム改修(2,764,800 円)
平成 29 年度	101・102 会議室の空調機修繕工事(4,298,400 円) 吸収式冷温水機改修(6,480,000 円)

第6章

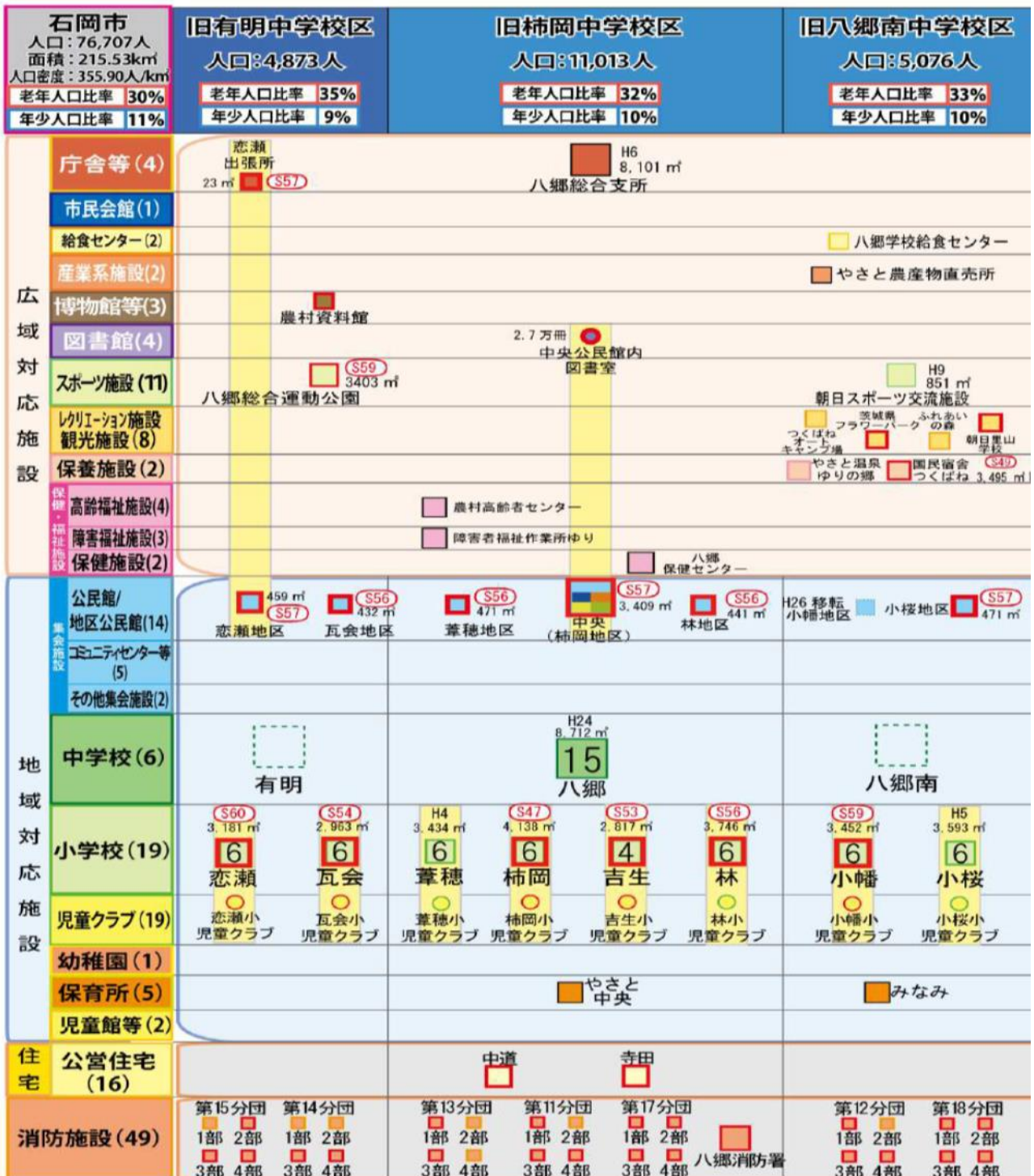
対策内容と実施時期

1. 再配置に関する基本方針

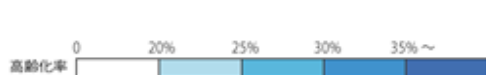
(1) 庁舎等の地区別配置状況

「石岡市公共施設等総合管理計画」の「石岡市実態マップ」に示された各地区施設の配置状況は、次のとおりです。

石 岡 市 実 態 マ ッ プ



※学校の学級数（特別支援学級含まず）は平成27年5月1日時点



赤枠は 築 30 年 以上経過

15 S59 建築年度

学級数等 音楽室・スタジオ等

ホール 和室

会議室 調理室等 工芸室等

園部中学校区	府中中学校区	国府中学校区	石岡中学校区	城南中学校区
人口:6,381人	人口:16,667人	人口:7,954人	人口:18,258人	人口:6,485人
老年人口比率 26%	老年人口比率 29%	老年人口比率 36%	老年人口比率 24%	老年人口比率 35%
年少人口比率 12%	年少人口比率 12%	年少人口比率 9%	年少人口比率 13%	年少人口比率 9%

園部出張所
21 m² S57

S49
8,669 m²
石岡市役所 (H27より建替中)

S42
4,621 m² 市民会館

石岡学校給食センター

農産物直売センター
石岡そだち

常陸風土記の丘

ふるさと歴史館
(旧民俗資料館)

S54
15.2万冊
1,521 m² 中央図書館

東地区公民館内
図書室

城南地区公民館内
図書室

柏原
野球公園 球技公園 サッカー公園 スポーツ広場

少年
石岡市海洋センター
S61
1,750 m²

石岡小学校屋内温水プール
H12
1,327 m²

染谷野球場

小井戸
運動広場

まちかど
情報センター

まちなみ
観光案内所

龍神の森
キャンプ場

まちなみ
観光案内所

特別養護老人ホーム
のぞみ

地域包括
支援センター

ふれあいの里
石岡ひまわりの館

障害者福祉作業所ひまわり

地域活動支援センター
けやきの家

石岡保健センター

S57
478 m² 園部地区

S54
1,214 m² 府中地区

S61
1,465 m² 国府地区

S57
1,236 m² 東地区

S52
66 m² 中央
東大橋分館

S61
1,491 m² 城南地区

H4
165 m² 中央
高浜分館

鹿の子コミュニティセンター

杉並コミュニティセンター

勤労青少年ホーム S55
1,528 m²

南台コミュニティセンター

三村地区ふれあいセンター

関川地区ふれあいセンター

S62
708 m² 旭台会館

6 H3
5,616 m² 園部

15 S55
8,520 m² 府中

6 S58
7,125 m² 国府

16 S53
7,888 m² 石岡

6 S36
5,180 m² 城南

S55
3,780 m²

S51
2,982 m²

S52
5,349 m²

H25
2,651 m²

S42
6,059 m²

S42
6,980 m²

H22
7,691 m²

S50
5,084 m²

S53
3,809 m²

S40
3,814 m²

S59
2,847 m²

8 S55
園部小

6 S51
東成井小

12 S52
杉並小

5 H25
北小

14 S42
府中小

12 S42
石岡小

17 H22
東小

15 S50
南小

6 S53
高浜小

6 S40
三村小

4 S59
関川小

園部小
児童クラブ

東成井小
児童クラブ

杉並小
児童クラブ

北小
児童クラブ

府中小
児童クラブ

石岡小
児童クラブ

東小
児童クラブ

南小
児童クラブ

高浜小
児童クラブ

三村小
児童クラブ

関川小
児童クラブ

園部

第1

第2

東
児童
センター

水久保

国分台

池の台住戸

池の台

古城

大作台

新池台

小川道

自由ヶ丘

自由ヶ丘第2

正上内台

茶屋場

大砂南

北の谷

第16分団

第6分団

第1分団 第3分団 第5分団

消防本部・石岡消防署

第8分団 第10分団

1部 2部

山崎出張所

消防団山崎倉庫

柏原分署

第2分団 第4分団

消防団
本部車庫

第7分団

愛郷橋出張所

第9分団

3部 4部

（２）八郷総合支所等の広域利用と地域利用のバランスについて

この「石岡市実態マップ」の中で、八郷総合支所及び出張所は「広域対応施設」と位置づけられています。

八郷総合支所は、施設自体の有益性が高く、広域的利用に加え、市民ニーズに即した地域的利用に供するため、公共施設として存続することとします。

出張所については、本庁や八郷総合支所に比べ、利用者数が低く、1人あたりのコストも高いことから、当面は存続としますが、コンビニ交付などのマイナンバーカード等を利用したサービスの普及状況を考慮しつつ、石岡市としての「窓口のあり方」を検証し、統廃合を含め存続を検討することとします。

（３）再配置に関する基本的な考え方

八郷総合支所のあり方については、「石岡市公共施設等総合管理計画」において「現行の施設でのサービスの必要性和併せ、より合理的な機能配置と施設整備の効率化を図ります」とされています。

八郷総合支所は、八郷地区の中で最も人口の多い旧柿岡中学校区に位置し、その立地場所は、主要道路が放射状に集り、石岡、八郷両地区からのアクセスが容易である強みを持っています。

また、現在の場所に移ってから20年以上にわたり、様々な行政機能を提供する施設として、子供からお年寄りまで多くの市民生活に定着した施設となっていることから、基本的には広域対応施設として、その立地を活かした広域的利用と、市民ニーズに即した地域的利用に供するため、公共施設として存続することとします。

2. 保全に関する基本方針

本市では、建築物に不具合が発生した後に修理を実施する「事後保全」が主体であったこれまでの維持管理を転換し、定期的な点検や保守により機能を良好な状態で維持する「計画的保全」の考えを導入することで公共施設の長寿命化を推進していきます。

① 法定点検の実施

建築基準法第12条では、用途や一定以上の規模の建築物について、建築物の敷地・構造・仕上げ及び建築設備について、3年ごとに状況・安全性の点検を実施することが義務付けられており、着実に実施します。

② 問診票による点検・診断の実施

劣化問診票による調査を定期的の実施します。また、調査結果をもとに簡易カルテを作成し、劣化の状況から整備レベル、維持管理等のメンテナンスの現状を把握します。

3. 工程表

前述の方針を工程表として示すと、八郷総合支所については次のようになります。出張所については、公民館との複合施設で、公民館の一室を使用している状況のため、施設長寿命化や大規模改修については、公民館の計画とします。

	年度 内容	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
長 寿 命 化	躯体健全性調査									○		
	長寿命化改修実施設計										○	
	長寿命化改修工事											○
	＊躯体健全性調査は 2027 年度，長寿命化改修実施設計は 2028 年度，長寿命化改修工事は 2029 年度。											
施設改修	基本的に，長寿命化改修工事とあわせて実施。ただし，施設の状況を把握するなかで，急を要する場合は，長寿命化改修工事を考慮して効率的に行う。											

4. 対策費用

「石岡市公共施設白書」のコスト資産で用いた地域総合整備財団の更新費用試算ソフトの共通試算条件の更新単価（大規模改修費用の単価）及び計算式（下記参照）を使用

更新単価（行政系施設＝250 千円）×施設面積（8100.63 ㎡）÷ 2,025,158 千円

第7章

今後の対応方針と本計画の実現に向けて

第7章 今後の対応方針と本計画の実現に向けて

1. 今後の対応

(1) 八郷総合支所

これまで述べてきたように、八郷総合支所は「石岡市公共施設等総合管理計画」において「庁舎等」に、その機能としては、同計画の「石岡市実態マップ」において「広域対応施設」と位置づけられています。

八郷総合支所では、これまで庁舎有効活用の一環として、1階「多目的ホール」、2階「喫茶スペース」の整備を実施してきました。

平成30年度新庁舎完成にともない、支所庁舎内に生じる余剰スペースについても、平成29年度から有効活用を検討し、関係各課との協議や、公共施設等総合管理計画推進本部等での審議を経て、次の施設を支所庁舎に集約し「複合化」することとなりました。

施設名	所在	機能	所管部署
農村資料館	大增 1519	民俗資料の保存展示	教育委員会文化振興課
地域活動支援センター けやきの家	国府 4-5-3	障害者福祉施設	保健福祉部社会福祉課
農村高齢者センター	柿岡 2155	高齢福祉施設	保健福祉部高齢福祉課
中央公民館内図書室	柿岡 5680-1	図書利用	教育委員会生涯学習課 (中央図書館)

今後は、施設所管課ほか関係各課と連携を図りながら、平成32年度中の供用開始を目指し進めていくことになりますが、複合化後の各施設の内「農村資料館」、「けやきの家」、「農村高齢者センター」の移転前の施設については、供用開始から5年後の平成37年度までに、除却(現状の機能を廃止)します。

年度	平成31年度	平成32年度
事項	基本・実施設計業務	庁舎改修工事後、供用開始

(2) 恋瀬出張所・園部出張所

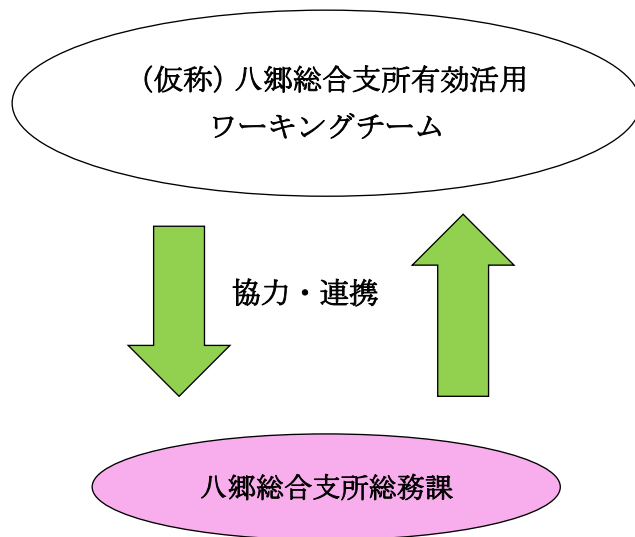
恋瀬・園部の両出張所については、利用人数が少なく利用者1人あたりのコストも高い状況にあることから、適切な時期を見て統廃合を含め引き続き検討していきます。検討する際は、利用状況や地域の人口の外、マイナンバーカードやコンビニ交付の普及状況等も考慮しつつ、民間施設等との連携も含め検討する必要があります。

なお、両出張所は、現在それぞれの地区公民館の一室を利用していることから、公民館の長寿命化や大規模改修等の時期についても考慮する必要があります。

2. フォローアップの方法

本計画の進行管理は、担当課である八郷総合支所総務課が行います。

八郷総合支所総務課は、施設の状況を把握するとともに、関係課で構成するワーキングチームと連携し、本計画の進行を図っていきます。



石岡市八郷総合支所等個別施設計画

企画・編集 : 石岡市 八郷総合支所
〒315-0195 茨城県石岡市柿岡5680番地1
電 話 : 0299-43-1111 (代表)
ファックス : 0299-43-1142
ホームページ : <http://www.city.ishioaka.lg.jp/>